

対象年度		令和 3年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート											
事務事業名		市道5234号線道路改良事業						予算事業名		市道0226, 5234号線道路改良事業費					
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	道路法, 道路構造令, 結城市道の構造の技術的基準等を定める条例						
			08	02	03	2502	経常経費								
総合計画体系	2安全で住みやすさを実感できるまちづくり(都市・環境)							事業の区分	主要事業						
	2-3便利で快適に移動できるまちづくり (道路・公共交通)								重点事業						
	①道路ネットワークの形成							担当課係等	土木課						
	2快適に移動できる道路の整備								改良係						
事業期間		継続 (令和 2年度～令和 5年度)													
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
通過車両, 通学児童の安全確保が見込まれる。 また, 県道明野間々田線から県道新宿新田総和線へのアクセス向上を目指す。								本路線は, 県道明野間々田線から県道新宿新田総和線を結ぶ市道であるが, 幅員が狭く通学児童が通行する際に危険な状況であり, 地元から強く拡幅要望がされていたため。							
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】								【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】							
市道5234号線の約600m区間を幅員8mに拡幅し, 整備する。								沿線住民と道路利用者							
令和2年度	路線測量委託, 道路詳細設計委託, 用地測量委託及び物件補償算定委託							【事業をとりまく環境の変化】 全国で登下校中の児童生徒が死傷する事故が相次いでおり, 必要な対策について関係機関で改善を行うようになってきている。 国も通学路の安全確保に向けた取り組みを重要事業として位置付け, 推進している。							
令和3年度	物件補償算定委託, 不動産鑑定委託, 用地買収及び物件移転補償														
令和4年度	用地買収及び物件移転補償														
令和5年度	物件移転補償及び工事費														
【令和 3年度 事業内容】								【令和 4年度 事業内容】				【令和 5年度 事業内容】			
物件補償算定委託 1式 不動産鑑定委託 1式 用地買収 1式 物件移転補償 1式				用地買収 1式 物件移転補償 1式				物件移転補償 1式 工事費 1式							

		R01年度	R02年度			
財 源 内 訳	国庫支出金	0	16,500			
	県支出金	0	0			
	地方債	0	12,100			
	その他の	0	0			
	一般財源	0	3,000			
歳入計（千円）		0	31,600			
歳 出 内 訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）			
	12 委託料	0	31,600			
歳出計（千円）（A）		0	31,600			
伸び率（％）			皆増			
備考	総合計画 ページ 予算書 ページ					

令和元年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R01年度	R02年度	R03年度
活動 指標			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	進捗率	%	目標	0.00	10.53	36.76
	事業費ベース		実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	利用者の安全を考慮すると、必要性、緊急性ともに高い。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	行政以外には実施できない事業である。
	手段の妥当性	A 妥当である	現在の手法が一般的である。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	法令及び技術管理に則り、設計・施工するため妥当である。人員に関しても最小限の人数で行っており、改善の余地はない。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	目的とした対象者に対して、広く便益が提供されることから偏りは見られない。
有効性	成果向上の余地		
進捗度	事業の進捗		
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
国庫補助事業を活用して整備を進めていく。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））	
■拡充（人・モノ・カネ等の拡充） □改善改革しながら継続 □現状のまま継続（改善・改革なし） □統合・新規事業への展開 □縮小 □休止 □廃止・終了 □予定どおりの要求 □一部改善の上要求 □今回は見送り □その他の処置	
方向性の具体的内容 全長2.8kmのうち未整備分600mについて幅員8mに拡幅し整備する事業である。通学路であり幅員が狭いことから地元からの強い要望もあり補助事業の採択となる。今年度より事業に着手し、補助事業を用いて早期の完成を目指す。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））	
□拡充（人・モノ・カネ等の拡充） □改善改革しながら継続 □現状のまま継続（改善・改革なし） □統合・新規事業への展開 □縮小 □休止 □廃止・終了 □予定どおりの要求 □一部改善の上要求 □今回は見送り □その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	